

2024年3月4日 全8頁

消費データブック（2024/3/4号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

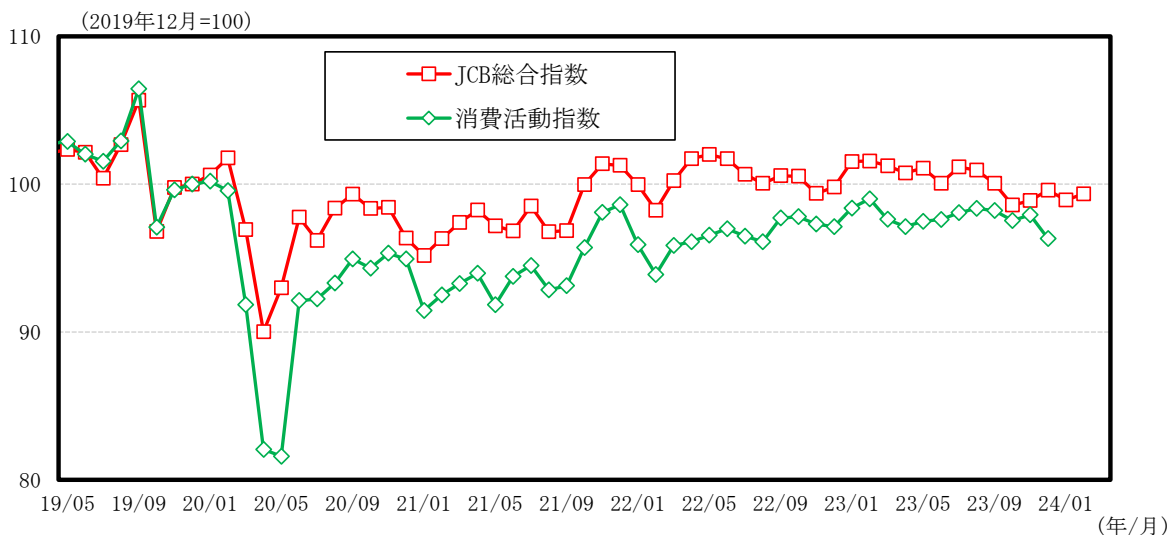
【要約】

- 2024年1月の消費は2023年12月から減少した。財消費のうち、百貨店商品販売額やアパレル販売額は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月比で前月から伸び率が低下した。新車販売台数は2023年12月に続いて減少した（大和総研による季節調整値）。サービス関連では、新幹線輸送量や国内線輸送量の伸び率が2019年同月比で12月から低下した一方、宿泊者数、外食売上高は2023年12月から伸び率が高まった。
- 2024年2月の消費は1月から概ね横ばいだったとみている。財消費のうち、百貨店大手3社の既存店売上高は2019年同月比で1月からプラス幅が拡大した。新車販売台数は1月に続いて前月比で減少した。サービス消費のうち、山陽以外の新幹線輸送量は2019年同月比で1月からマイナス幅が縮小した。JCBが集計した宿泊消費額、外食消費額はいずれも前月比で減少した。移動人口は、2019年同月比で1月から落ち込んだ。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 24 年 2 月の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額の伸び率は前月比+0.4%となった。家電などの財指数が上昇した一方、サービスは小幅に落ち込んだ。

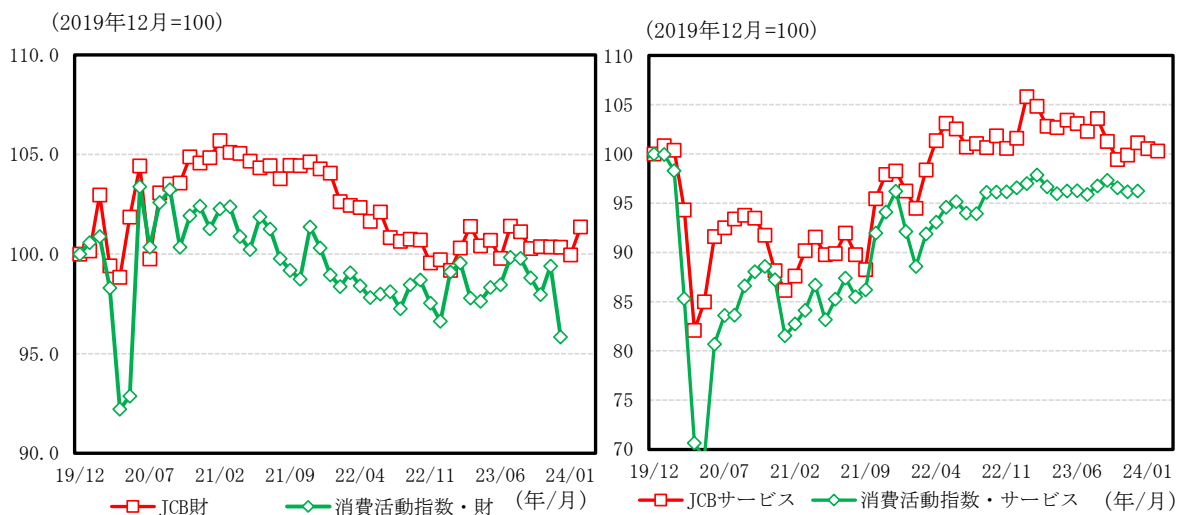
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 2 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 2 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

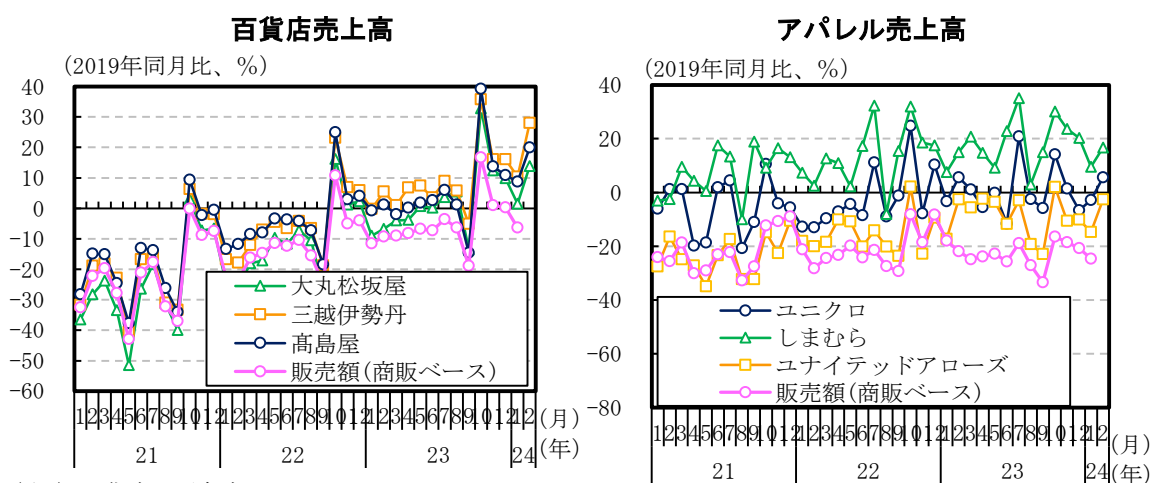
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

<小売関連>

- ◆【百貨店】 24年1月の百貨店商品販売額は、新型コロナウイルス感染拡大前である19年同月比で伸び率がマイナスに転じた。24年2月の百貨店大手3社の既存店売上高伸び率は前月から拡大し同+14~28%程度。雑貨や化粧品の売上が好調。
- ◆【アパレル】 24年1月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が拡大。24年2月のしまむらの既存店売上高は前月からプラス幅が拡大。全国的に気温が上昇し、春物のアウターなどの売上高が伸長。

図表3：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。

(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユナイテッドアローズはネット通販を含む数値。

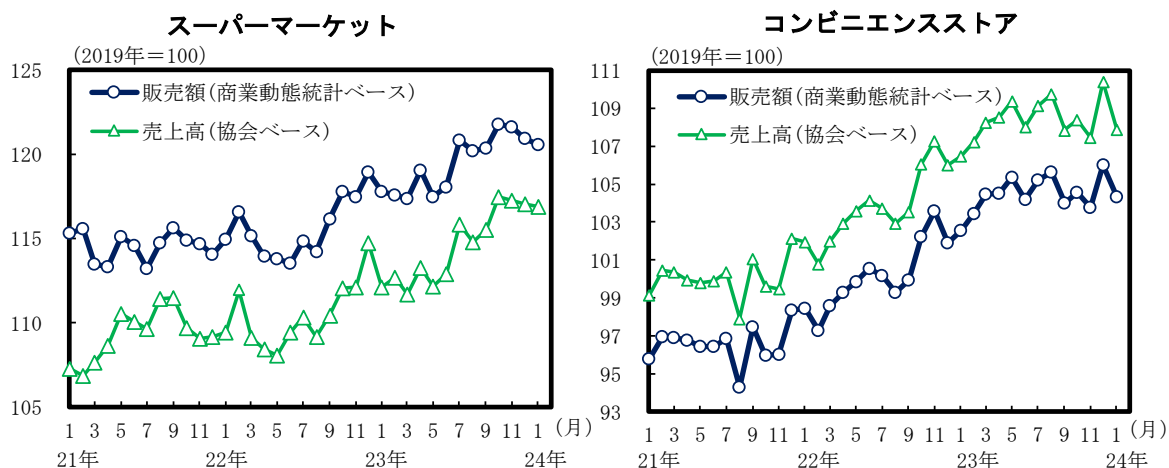
しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。

(注3) アパレル販売額（商販ベース）は、商業動態統計の「織物・衣服・身の回り品小売業」を参照。

(出所) 経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパーマーケット】 24年1月の販売額は前月比▲0.3%（大和総研による季節調整値）。飲食料品販売額が減少。
- ◆【コンビニエンスストア】 24年1月の販売額は前月比▲1.6%（大和総研による季節調整値）。日配食品や加工食品、各種チケット等のサービス販売額が減少。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

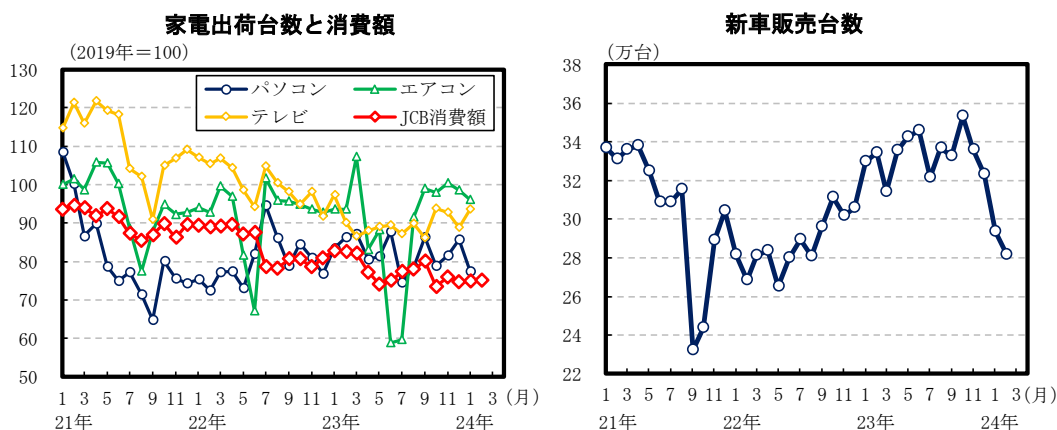


(注) 売上高（協会ベース）は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

- ◆【家電】24年1月の出荷台数はパソコンが前月比▲9.6%、エアコンは同▲2.4%、テレビは同+5.4%（大和総研による季節調整値）。24年2月のJCB消費額（機械器具小売業）は同+0.4%と前月から小幅に増加（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年1月の新車販売台数はトヨタ自動車やダイハツ工業の一部工場の稼働停止の影響により前月比▲9.2%と大幅に落ち込んだ。24年2月も稼働停止の影響で同▲4.0%と大幅減が続き、22年8月に次ぐ低水準となった（大和総研による季節調整値）。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



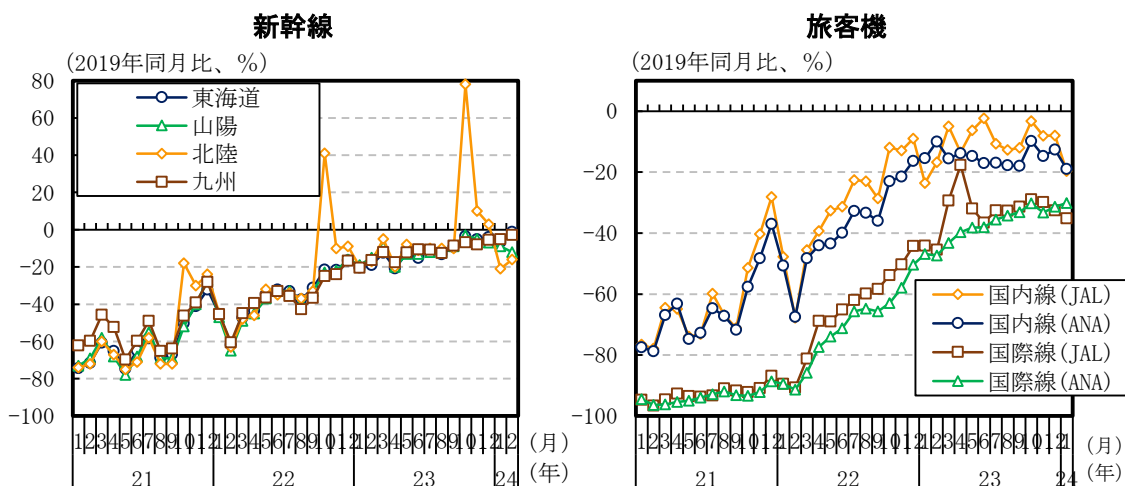
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年2月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】24年1月の輸送量は19年同月比▲21～▲5%程度。24年2月の輸送量は、山陽以外はいずれも前月からマイナス幅が縮小し、同▲16～▲1%程度。
- ◆【旅客機】24年1月の国内線輸送量は19年同月比で▲20%～▲19%程度と前月からマイナス幅が拡大、国際線輸送量は同▲30%程度とまちまちな結果。航空各社は堅調な観光需要の回復を受けて、24年の旅客便の供給量の拡大を発表。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

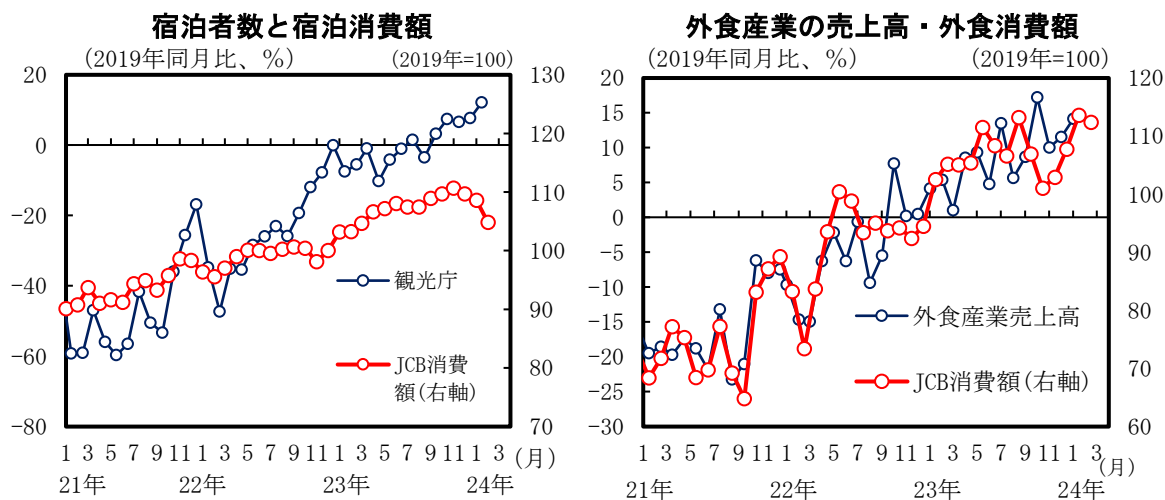


(注) 24年2月の東海は14日、山陽と北陸は7日、九州は20日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 24年1月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比+12.2%と前月から伸び率が拡大。24年2月のJCB宿泊消費額は前月比▲3.4%。
- ◆【外食】 24年1月の外食産業の売上高は19年同月比+14.1%と前月から伸び率が拡大。24年2月のJCB外食消費額は前月比▲1.1%。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

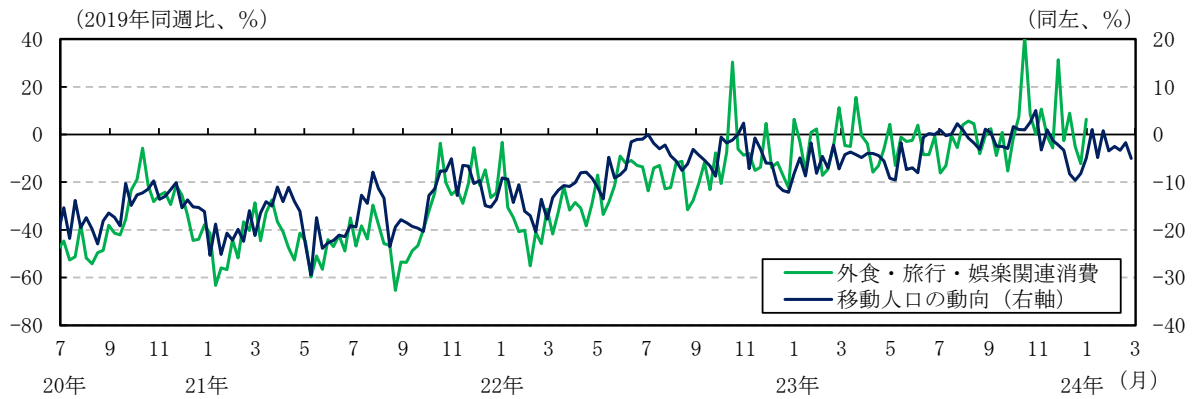


(注) 24年2月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：移動人口の動向>

図表 8-1：外食・旅行・娯楽関連消費と移動人口の動向（直近値 2024/2/25）

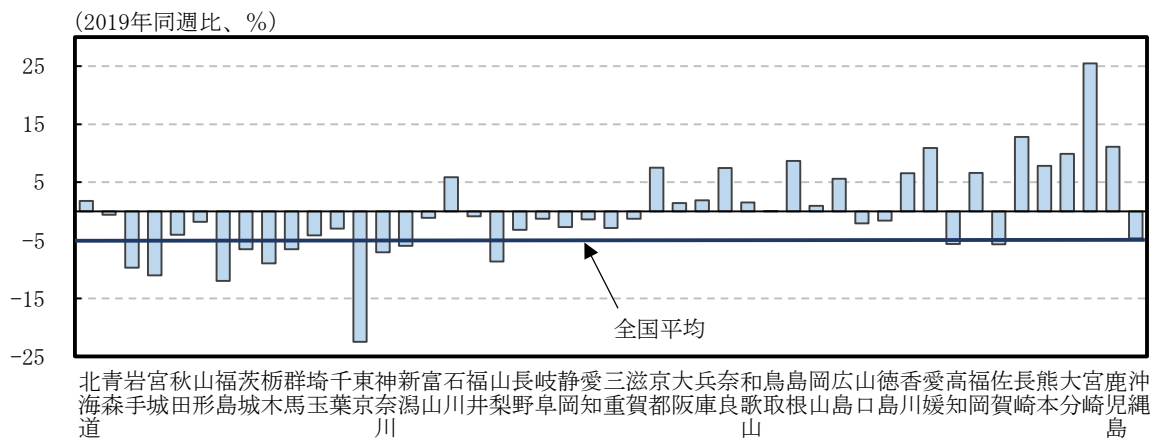


(注) 移動人口は全ての市区町村の「推定居住地が市区町村外のものの人口」を週ごとに集計したもの。

外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

(出所) 総務省統計、V-RESASより大和総研作成

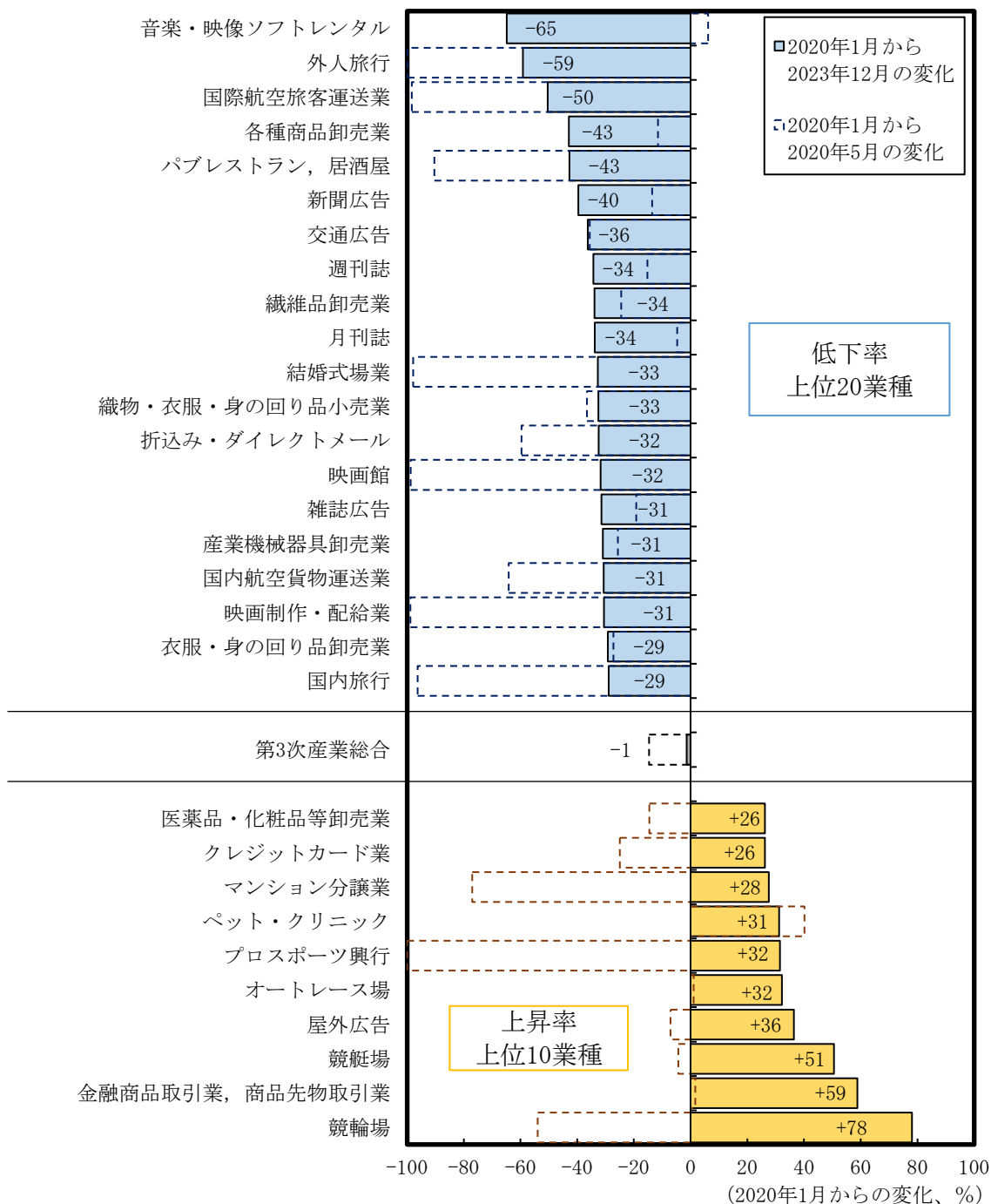
図表 8-2：移動人口の動向（2024/2/19～2/25 週、都道府県別）



(出所) V-RESASより大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

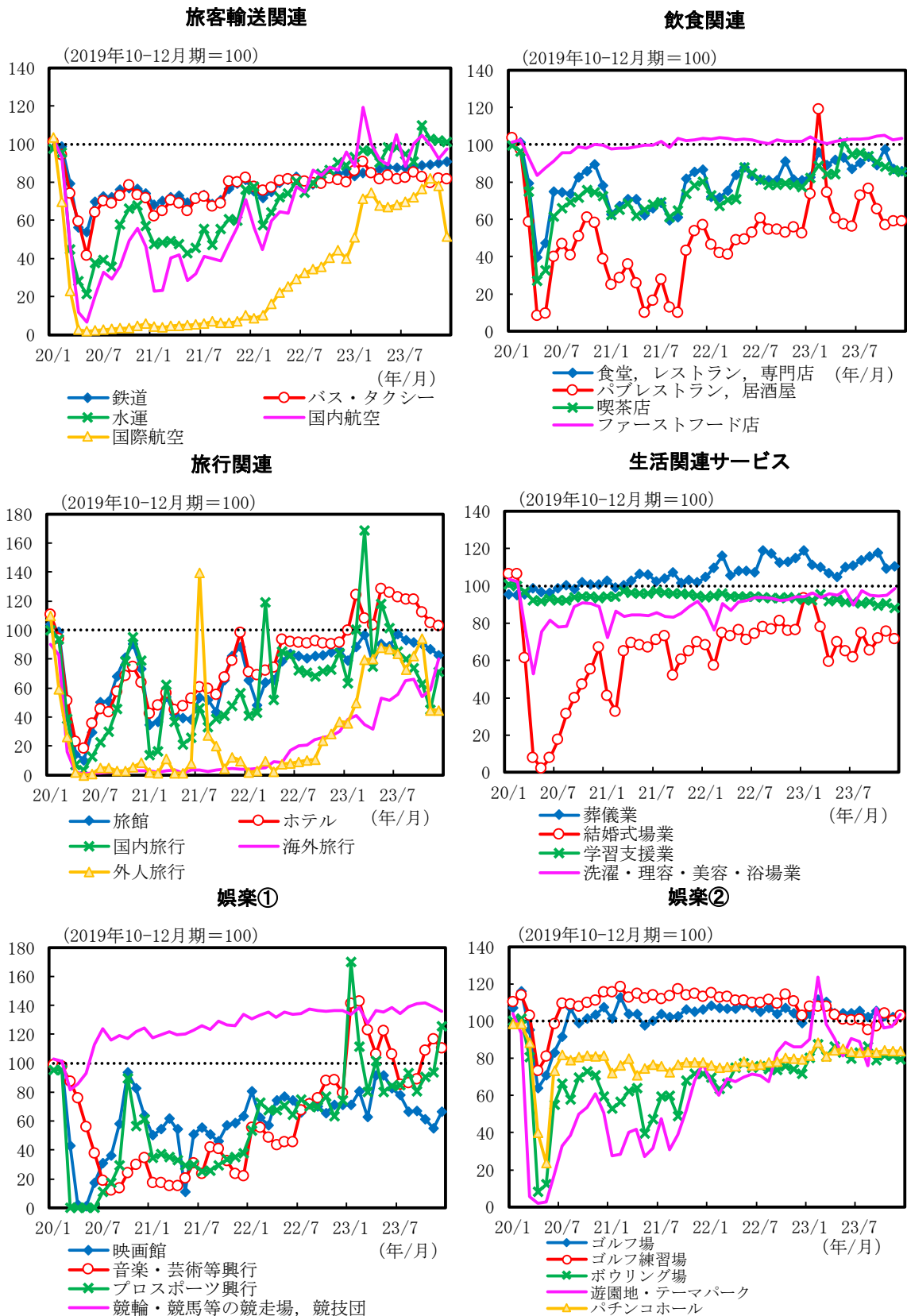
図表 9-1：第3次産業活動指数（2023年12月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2023年12月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 9-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成